

全 仏

~~~~~

No. 376

1992. 3



壇上に揃った新旧会長・副会長  
(関連記事3面)



財団  
法人

全日本仏教会

JAPAN BUDDHIST FEDERATION

## 理事会・評議員会開催

# 会長に山田天台座主

## 評議員会



本会の理事会・評議員会が、去る1月30日午後2時から、東京の赤坂プリンス・ホテルで開催された。会議では、任期満了に伴う会長・副会長の推戴、理事長をはじめとする役員の選出、さらに平成4年度の事業計画案や歳入歳出予算案等が審議された。

議長に小田原利仁師、議事録署名名人に杉谷義純、海野浄雄の両師を選んで議事に入った。

**議案第一号**「任期満了に伴う理事及び監事選出の件」

慣例に従い、理事・監事の選考委員会を設け、別室で協議の結果、別記の理事及び監事を選出した。

**議案第二号**「任期満了に伴う会長及び副会長推戴の件」

石上理事長より上程。昨年十二月五日に開催された「第二十期会長・副会長推戴委員会」の結果を、同委員会委員細川信元師が報告。これに基づき、別記の通り、会長・副会長の推戴を議決した。

**議案第三号**「平成四年度事業計画（案）について意見を求める件」

石上理事長より上程。川島総務部長が平成四年度事業計画書を朗読。原案賛成の意見が表明された。

**議案第四号**「平成四年度歳入歳出予算（案）について意見を求める件」

石上理事長より上程。剛山財務部長が、予算案の詳細を説明。質疑応答の後、原案賛成の意見が表明された。

**議案第五号**「ルンビニー園復興事業の経過



祝杯の発声を行う、塚原組織委員長  
後ろに並んでいるのは、本会推薦議員の方々

と今後の推進について意見を求める件」  
石上理事長より上程。久米原国際文化部長  
及び川井ルンビニー委員長が復興事業の経過  
と今後の推進について説明を行った。質疑応  
答の後、原案賛成の意見が表明された。

## 理 事 会

増田貞圓師を仮議長に、議事録書名人に成

田有恒、石上博貫の両師を選んで議事に入った。

**議案第一号**「任期満了に伴う理事長及び常務理事選出の件」  
浄土真宗本願寺派の石上智康師を理事長に選出。石上理事長を議長に、別記の常務理事を選出した。

**議案第二号**「各種委員会委員の承認を求める件」  
石上理事長より上程。川島総務部長が説明、原案通り承認された。

**議案第三号**「総務委員会規定の承認を求める件」  
石上理事長より上程。川島総務部長が、委員会設置の趣旨及び規定を説明。原案通り承認された。

**議案第四号**「任期満了に伴う会長及び副会長推戴の件」  
石上理事長より上程。昨年十二月五日に開催された「第二十期会長・副会長推戴委員会」の結果を、同委員会委員細川信元師が報告。これに基づき、別記の通り、会長・副会長の推戴を議決した。

**議案第五号**「平成四年度事業計画（案）」について承認を求める件」  
石上理事長より上程。川島総務部長が平成四年度事業計画書を朗読。原案通り承認された。

**議案第六号**「平成四年度歳入歳出予算（案）」

について承認を求める件」

石上理事長より上程。岡山財務部長が、予算案の詳細を説明。質疑応答の後、原案通り承認された。

議案に関する議事が終了した後、理事会・評議員会に共通する報告事項が、事務総局の各部長より行われた。

## 林義郎氏が講演

理事会・評議員会終了後、午後五時から、「日本の歩むべき道」をテーマに、衆議院議員林義郎氏が講演を行った。林氏は高齢化社会の進展や、脳死問題等に対して、仏教界にかけの期待が大きいことを熱く話された。

## にぎにぎしく懇親会

午後六時から、同じ赤坂プリンス・ホテルで恒例の新年懇親会が開催された。山田恵諦会長をはじめ新旧役員挨拶、来賓祝辞の後、塚原俊平自民党全国組織委員長の発声で乾杯を行ったが、約四百人の出席者でさしもの広い会場も、一時は立錫の余地もないほどの盛況を呈した。

政界からは、森喜朗自民党政調会長をはじめ、加藤六月、西岡武夫、小淵恵三、原田憲渡辺栄一、桜井新の諸氏ら、代理を含めて百人を超える国会議員が出席した。

(天台座主)  
(真言宗智山派  
管長)  
(真言宗善通寺)

# 全仏新役員の顔おれ

## 副会長は藤井師ら7人

- 4 -

|                    |                  |                     |                    |                   |                   |                   |                    |                   |                    |                |                    |                   |                   |                      |                   |                  |                    |                     |                   |                   |                     |                     |                      |                |                      |                     |                    |                     |                     |                      |                      |                   |                    |
|--------------------|------------------|---------------------|--------------------|-------------------|-------------------|-------------------|--------------------|-------------------|--------------------|----------------|--------------------|-------------------|-------------------|----------------------|-------------------|------------------|--------------------|---------------------|-------------------|-------------------|---------------------|---------------------|----------------------|----------------|----------------------|---------------------|--------------------|---------------------|---------------------|----------------------|----------------------|-------------------|--------------------|
| 岡田 高功<br>(真言宗大覺寺派) | 高野 日豊<br>(本門佛立宗) | 深津 実乗<br>(浄土宗西山深草派) | 加藤 勝真<br>(真言宗善通寺派) | 徳 庸光<br>(顯本法華宗)   | 福井 英昭<br>(新義真言宗)  | 高田 正峰<br>(真宗本辺派)  | 合田 和教<br>(真言宗国分寺派) | 上田 光仁<br>(真言宗山階派) | 小野 琢道<br>(臨濟宗建仁寺派) | 上野 永慶<br>(華嚴宗) | 川村 俊朝<br>(真言宗泉涌寺派) | 安田 咲胤<br>(法相宗)    | 高田 良信<br>(聖徳宗)    | 小池 弘三<br>(真言宗須磨寺派)   | 平田 忠義<br>(妙見宗)    | 国定 浄運<br>(真言三寶宗) | 池田 光輝<br>(真言宗中山寺派) | 小滝 了信<br>(北海道仏教会連盟) | 浅野 俊道<br>(同)      | 最上 知良<br>(青森県仏教会) | 高木 教潤<br>(岩手県仏教会連盟) | 竹市 文成<br>(群馬県仏教会連盟) | 鱒淵 正浩<br>(栃木県仏教会)    | 高木 歆了<br>(同)   | 中村 純崇<br>(茨城県仏教会)    | 江連 俊則<br>(埼玉県佛教会)   | 酒井 文雄<br>(同)       | 村松 勝義<br>(千葉県仏教会)   | 山田 正隆<br>(同)        | 岩崎 宗秀<br>(東京都仏教会連合会) | 大谷 博通<br>(同)         | 白川 謙敬<br>(同)      | 柳下 隆侃<br>(神奈川県仏教会) |
| 大井 重忠<br>(同)       | 本間 孝康<br>(同)     | 田宮 黎友<br>(新潟県仏教会)   | 波佐場 薫<br>(石川県仏教会)  | 藤巻 賢昭<br>(山梨県仏教会) | 海野 淨雄<br>(長野県仏教会) | 加納 博司<br>(岐阜県仏教会) | 藤 政昭<br>(静岡県仏教会)   | 石上 博貴<br>(同)      | 塚本 智見<br>(愛知県仏教会)  | 瀬辺 淳信<br>(同)   | 江川 辰三<br>(滋賀県仏教会)  | 吉水 哲応<br>(京都府仏教会) | 長澤 香静<br>(京都府仏教会) | 梨谷 哲栄<br>(京都府仏教会連合会) | 増田 貞圓<br>(大阪府仏教会) | ▽井桁 雄弘<br>(同)    | 廣瀬 照晴<br>(兵庫県仏教会)  | 高橋 恵俊<br>(同)        | 清田 寂圓<br>(岡山県仏教会) | 大西 智城<br>(徳島県仏教会) | 水崎 章元<br>(愛媛県仏教会)   | 島田 定信<br>(高知県仏教会)   | 江田 堯昭<br>(福岡県仏教会連合会) | 友松 諦道<br>(真理会) | 島田喜久子<br>(全日本仏教婦人連盟) | 鎌原 泰彦<br>(全日本仏教青年会) | 中山 静麿<br>(日本仏教鑽仰会) | 秋山 秀清<br>(日本仏教保育協会) | 長田 順海<br>(国際仏教興隆協会) | 尾崎 隆<br>(仏教振興財団)     | 村松 賢英<br>(東京フェイスクラブ) | 沼田 恵範<br>(仏教伝道協会) | 秋場 善弥<br>(国柱会)     |

# 花まつりポスター

\* 4月8日はお釈迦さまのお誕生日

## 花まつり



|| 広く統一してご利用下さい ||

花まつりの行事は年々盛大に行なわれていますが、さらに全国的に浸透せしめるため、全日本仏教会では写真のような統一したポスターを作成、広くご利用頂けるよう頒布しております。  
 明るい春の野に静かに立って、天と地をさすお釈迦さまの姿は、見る人の心に安らぎを与えることと思います。  
 下記の要領にて頒布いたしますので各県仏、都市仏、各寺院、幼稚園、保育園などで広くご利用下さい。

◎ サイズ 七四センチ×五二センチ  
 ◎ 定 価 一枚 百円  
 送料実費

◎ 申込先 東京都港区芝公園四―七  
 ―四 全日本仏教会

※送付に時間のかかることもありま  
 すので、お早めにお申込み下さい。毎  
 年ギリギリの申込みで四月八日に間に  
 合わないことがありますので……。

# 第十六回「業・施陀羅問題」に関する研究会

高松（天台宗社会部長）・野本（天台宗典編纂所編輯長）

佐々木（高野山真言宗同和局長）・近藤（高野山真言宗同和専門委員）

## の四師が発表

本会の同和委員会が主催する、第十六回「業・施陀羅問題」に関する研究会が、昨年十一月七日午後一時から、天台宗務庁会議室で開催された。

今回の研究会では、最初に「天台宗の取り組み」のテーマで、天台宗社会部長・高松義寛、同宗典編纂所編輯長・野本覚成の両師が発表を行った。

高松師は、同和推進に関する天台宗内の組織構成、現在までの取り組みの概要等について説明を行った。昨年四月には、宗内事務局



高松 義寛師

に同和推進に関する事務主任が選任され、活動の体勢はととのえられつつある、と締めくくられた。

つづいて野本師は、「經典等に見られる用語上の問題」という観点から、①『法華経』の差別的な用語の意味するところについて、として『法華経』の各品中に見られる差別的な用語の概説を行った。

これらの内、唯一「安樂行品」中に見られる「施陀羅」の文言について、『法華文句』中において、天台大師は註釈を加えておらず、



野本 覚成師

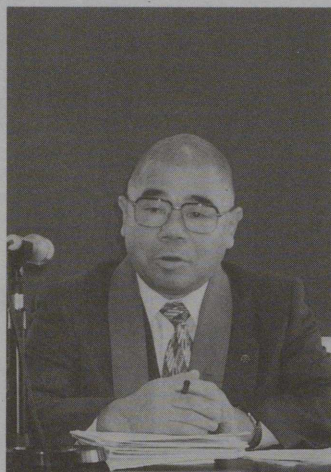
次代の『法華文句記』では、単に「人をして慈なからしむからだ」と説明しているのみである。すなわちそれは、『法華経』が成立した当時の、非常に強固なカースト制を敷くインドの社会状況下で、仏教が無差別、非差別を強く主張する事は、社会的な弾圧を受け、延いてはその壊滅を意味するものであったからだと考えられる。

次に②『願文』の差別的な用語の意味するところについて、として伝教大師最澄の真摯な自己反省を中心テーマとした、そして比叡山隠棲の覚悟が伺える『願文』に見られる差別的な事象にふれた。

最後に③「業」について、としてその概念について教理学的な考察を行った。

「業」は自らの煩惱が作るものである。そしてそれは、実体として、また絶対的なものとして存在するものではなく、これに悩まされたり、囚われたる事は意味のない事である。しかし、現実的には「業」は煩惱がある限り、誰でもが善悪の「業」として継続してしまうのである。したがって、それからの脱却を必然的に考える。

顕教においては、この決定してしまった「業」（決定業）をいかにして転ずるかという、抽象的な議論に終始するが、密教では観念的ではあるが、内護摩によって「業」を



佐々木兼俊師

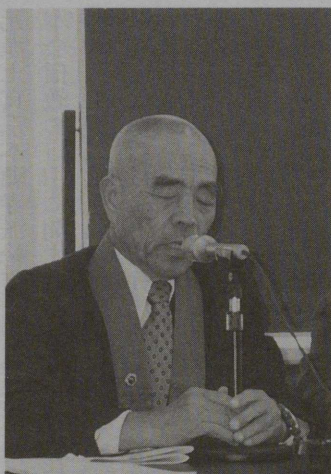
転じ、解脱を得るとする。すなわち、「決定業転」と称し、決定している「業」であっても、かえる事ができると教理論ではいのである。

つづいて、「高野山真言宗の取り組み」と題して、高野山真言宗同和局長・佐々木兼俊、高野山真言宗同和専門委員・近藤寛玄の両師が同じく発表を行った。

まず最初に、佐々木師が「高野山真言宗同和問題協議会」（略称・高真同協）の発足からはじまり、昭和五十七年（一九八二）三月の第六十五次定期宗会において「同和局並びに同和委員会」の設置に至る経緯について説明。

昭和五十八年（一九八三）二月、同和委員会専門委員会によって「高野山真言宗同和問題に対する基本方針」が策定され、これに基づく「同和推進要項」が定められた。

この基本方針とは、①同和問題に対する正しい理解と認識の徹底をはかる、②差別解消



近藤 寛玄師

をめざす教化活動を強化する、③教典等の理解の見直しをとおして差別助長の払拭をはかる、④同和問題解消推進のための体制をととのえる、の四点を柱に、積極的に同和推進をはかる事を示したものである。

最後に佐々木師は、高野山真言宗としては、僧侶一人ひとりの自覚を促す内に、教学あるいは布教の中にどういった位置付けを行い、啓発をつづけて行くかという事について、この「基本方針」に基づいた研修を重ねて行く所存である、と話を結んだ。

近藤師はまず、高野山真言宗にかかわる五つの差別事象と、それらへの対応について説明を行った。

○「烏薨沙摩明王のお札」について

高野山のある寺院から出されている「烏薨沙摩明王のお札」の中に、部落差別につながる事項があるとして問題となる。この差別事象により、高野山真言宗の同和問題への取り

組みがはじまる。そして「高野山真言宗同和問題協議会」の設置を見る。お札については、配布間もない事もあり大半が残されており、回収処分した。

#### ○「差別戒名」の指摘について

埼玉県下の高野山真言宗に属する寺院において、「差別戒名」の存在が指摘された。処理については、施主との話し合いで、今日的に改め、あらためて供養することにした。差別戒名墓石は①檀那寺と施主との合意に基づき境内地等に供養塔を建立、墓誌墓石を移転安置する、②供養塔建立の諸経費は本山からも助成する、③差別戒名は当該寺院住職によって改名する、④差別戒名の載った過去帳は本山で保管、毎年春季大法会期間中「差別戒名追善法会」を厳修する等の方針で処置する事になった。

#### ○『法号・戒名の付け方及解説』、『仏前勤行次第』、『真言宗実践双書』について

『法号・戒名の付け方及解説』、『仏前勤行次第』、『真言宗実践双書』等の書籍、教典等についての差別性が明らかにされた。早急に回収作業を行い、新たに改訂本を配布する事とした。

そして最後に近藤師は、同和問題は祖師の原点にかえり、その御心に副う方向で取り組んで行くべきである、と結ばれた。

## 第二回国際委員会

本年度の第二回国際委員会が、去る一月二十四日午後二時から、明照会館会議室で開催された。

議題①第十八回WFB世界仏教徒会議台湾

大会について

本会加盟宗派から発行されている英文のパンフレット、現在発刊されている日本仏教を紹介した英文書籍、宗門の教育機関名簿等を大会で配布ができるように準備を進める。

議題②英訳による日本仏教入門書の刊行について

事務局から去る一月十七日に開催された「編集担当者準備会」の報告があり、次期国際委員会において編集準備のための小委員会を設置し、英訳による一般的な日本仏教入門書の作成準備に取り掛かる事を、次期委員会に申し送る。

## 哀悼

若林 隆光

平成三年十二月十四日、七十三歳で遷化

本会文化専門委員会元委員長

浅野 秀慶（元全仏理事）

平成三年十二月十五日、六十九歳で遷化

元浄土真宗本願寺派総務

本会信教の自由に関する委員会元委員長

稲葉 是清（元全仏理事）

平成三年十二月二十三日、八十七歳で遷化

元西山浄土宗宗務総長

青沼 寂誼

平成三年十二月二十五日、九十一歳で遷化

天台宗東叡山寛永寺住職

脇 千城（全仏評議員）

平成四年一月二日、七十八歳で遷化

香川県仏教会会長

本多 賢純（元全仏理事長）

平成四年一月三十一日、八十四歳で遷化

真宗大谷派宗務顧問

西口 公教

平成四年二月十三日、七十九歳で遷化

真言宗国分寺派管長

## 事務局録事

一月一日

八日 局内会議

九日 法律相談室

十日 埼玉県佛教会新年会出席

十六日 局内会議

ネパール大使来局

二十日 日宗連理事會

二十四日 国際委員会

二十七日 局内会議

二十八日 全日本仏教婦人連盟修正会出席

三十日 理事・評議員会、新年懇親会

二月一日

一部落解放研究所宗教部会出席

七日 本多賢純師本葬参列

十日 局内会議

十二日 包括宗教法人等管理者研究協議会出席

十三日 法律相談室

十八日 日蓮宗管長就任祝賀会出席

二十六日 局内会議

二十七日 法律相談室

## 寺院用具

浅草通り五鳳会加盟店

株式会社 決田商店

東京都台東区寿2-10-9（地下鉄田原町駅前）

電話 代表 (3841) 4965